

令和6年1月

日動協：教育セミナーフォーラム 2024のご案内

公益社団法人日本実験動物協会

(公社)日本実験動物協会では、今年度の教育セミナーフォーラムを、下記の内容でWEB形式(ビデオ・オン・デマンド)にて開催いたします。

今回のテーマは「実験動物福祉への対応—その現状と課題」としました。

我が国の実験動物福祉は、2005年の動物愛護管理法改正で実験動物福祉の原則とされる3Rsが法律に明記され、それまでの対応とは大きく変わりました。そして、2019年法改正の5年後に当たる2024年には次の法見直しを控えています。このような状況下で、2005年法改正後の20年を振り返り、その現状と今後の課題を整理する機会になればと考えました。

講演内容は、日動協としてのこれまでの取り組みについて実験動物生産施設等福祉認証事業(第三者認証)を中心に紹介し、次に、ブリーダー業界と請負・派遣業界の方々から実験動物福祉への対応の現状をご紹介します。そして、日本実験動物学会理事長には、今後の実験動物福祉に関する課題をご講演いただきます。最後に、より広い視野での動物福祉を考えるために、昨年7月に公表された畜産動物の「畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針」(アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針)について、農林水産省の担当者から解説をいただきます。

今回の教育セミナーフォーラムへの参加が、実験動物技術者をはじめ、動物実験業務に携わる皆様に、実験動物福祉の重要性をより深めていただける機会となることを期待しております。

なお、受講者には修了証を交付いたします。

記

テーマ：「実験動物福祉への対応—その現状と課題」

WEB(オンデマンド)配信日程：令和6年3月11日(月)正午～3月25日(月)正午

質問受付期間：令和6年3月11日(月)～3月26日(火)

受講費：

| | |
|-----------------|------------------|
| 当協会正会員 | ：1,650円(講演録・税込み) |
| 当協会賛助会員 | ：2,200円(同上) |
| 実験動物技術指導員及び準指導員 | ：1,650円(同上) |
| 一般受講者 | ：3,300円(同上) |

受講申込み：<https://sympo.adthree.net/nichidokyo-kyoiku2024/etr.html>

受講申込み期間：令和6年1月15日～2月9日

備考：① 正会員、賛助会員とは、あなたの所属する会社が当協会の正会員、賛助会員であることをいい、学会や技術者協会の個人会員とは異なりますのでご注意ください。

- ② 受講費の金額・お支払方法につきましては別途ご案内します。
- ③ 受講をキャンセルされる場合は、必ず事務局へご連絡ください。
- ④ いったん振り込まれた受講費は、理由の如何に関わらず返金いたしません。
- ⑤ 受講者には、開催前に「視聴方法等に関する資料」を配信します。

教育セミナーフォーラム 2024 プログラム
テーマ：「実験動物福祉への対応 ― その現状と課題」

オンデマンド配信：令和6年3月11日（月）正午～3月25日（月）正午
質問受付期間：令和6年3月11日（月）～3月26日（火）

- ・開会の挨拶
（公社）日動協 副会長、教育・認定委員会担当理事 吉川 泰弘（岡山理科大学）
約 15 分
- ・座長挨拶
（公社）日動協 教育・認定委員会委員 小山 公成（（株）ケー・エー・シー）
約 10 分
- 1. 「日動協の実験動物福祉に関する取り組みの現状と課題」
畔上 二郎（（公社）日本実験動物協会 事務局）
約 30 分
- 2. 「実験動物生産施設の考える動物福祉
―生産従事者の視点における廃棄動物削減のための取り組み―」
櫻井 宏樹（ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン(株)）
約 30 分
- 3. 「実験動物福祉への対応
―実験技術動画教材利用による動物福祉への貢献―」
天野 真理子（（株）ケー・エー・シー）
約 30 分
- 4. 「実験動物福祉の今後の課題」（仮題）
三好 一郎（（公社）日本実験動物学会 理事長）
約 30 分
- 5. 「家畜のアニマルウェルフェアに関する新たな国の指針について」
眞壁 七恵（農林水産省畜産局畜産振興課）
約 30 分